

カットアウトデータ抽出ツール  
coWOLF(Cut Out Tool for WOLF) Ver1.1  
操作マニュアル

第1.1版  
2011年1月11日  
メディカルドメイン株式会社

1.動作環境.....	3
2.インストール .....	4
3.操作方法.....	7
3-1. メイン画面 .....	7
3-2. 出力ファイル設定画面.....	9
3-3. 出力アイテム設定画面.....	12
3-4. セットマスタ編集画面.....	13
3-5. 変換マスタ編集画面 .....	18
3-6. 桁数設定画面.....	20
3-7. データ抽出 .....	21
3-8. 検査項目選択画面.....	24
3-9. ファイル出力.....	26

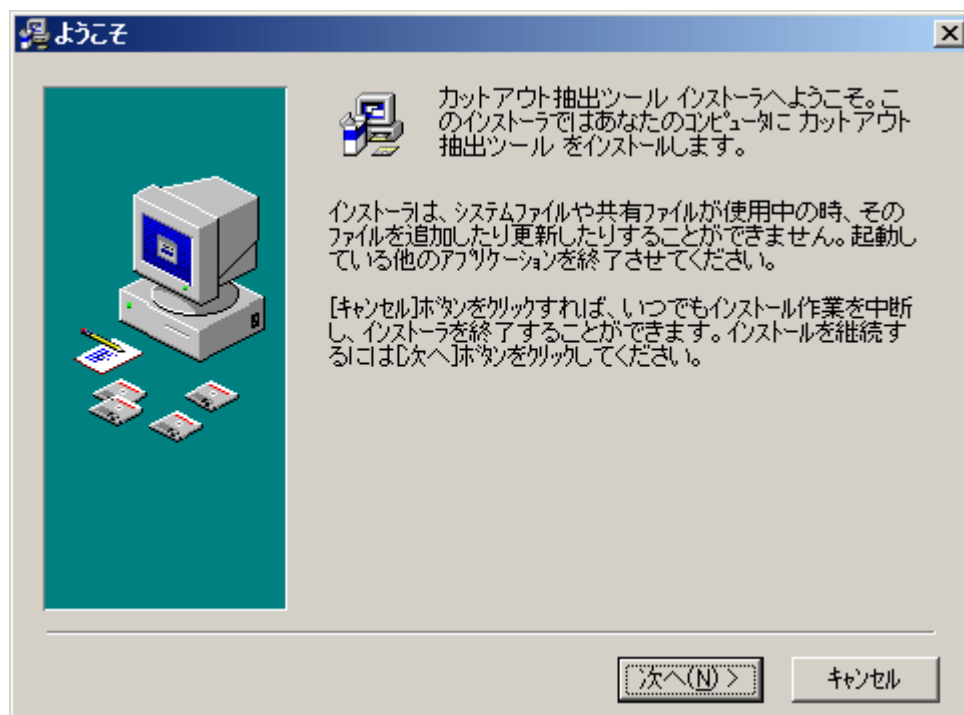
本書はカットアウトデータ抽出ツール coWOLF のマニュアルです。  
coWOLF は WOLF のデータベースから患者情報、検査情報を取得し、任意の形式のテキストファイルで出力するツールです。

## 1.動作環境

- ・ Microsoft Windows 2000 Professional、XP Professional/HOME Edition、Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate、Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate (全ての Windows で 32bit 版/64bit 版)
- ・ 有料版 WOLF ver2.0.8 以上、WOLF-V 2.0.8 以上

## 2.インストール

CutOut\_Installer.EXE を実行します。

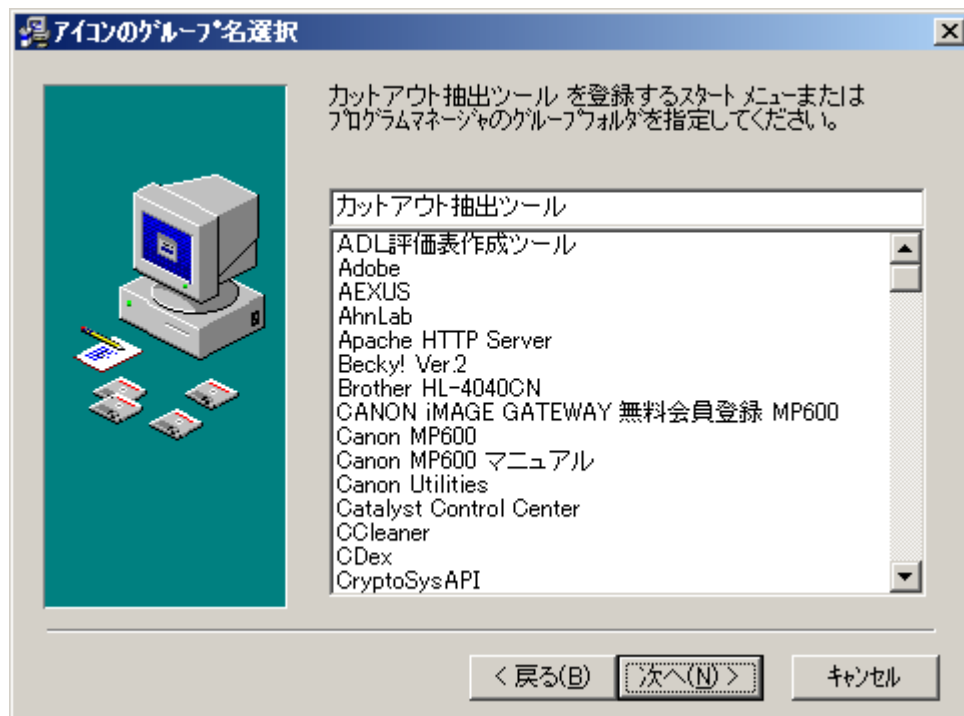


インストールフォルダを選択します。

※上書きインストールをおこなう際は、必ずインストール済みのフォルダを選択してください。



グループフォルダを選択します。



設定が完了したら「次へ」ボタンクリックでインストールが開始されます。

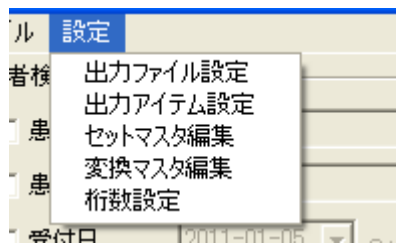


ファイルのコピーが終わりましたら、「完了」ボタンをクリックしてインストール完了です。





メニューの「設定」をクリックしますと、以下のようなメニュー項目が表示されます。



メニュー項目の内容は以下の通りです。

- ・ 出力ファイル設定  
出力ファイルのファイル名、保存方法(上書保存するか、別名を付けるか)、項目の区切り文字、項目の囲み記号などの設定をおこないます。
- ・ 出力アイテム設定  
ファイルに書き込む項目の定義、ヘッダの有無の設定をおこないます。
- ・ セットマスタ編集  
検査セットの作成、更新、削除をおこないます。
- ・ 変換マスタ編集  
ファイル出力時に検査項目コードおよび検査項目名称を院内システムのコード、名称に変換するための変換マスタの編集をおこないます。
- ・ 桁数設定  
項目内容を桁数固定で出力する際の桁数の設定をおこないます。

次ページからそれぞれの設定方法・マスタの編集方法を説明いたします。

### 3-2. 出力ファイル設定画面

メイン画面のメニューから「出力ファイル設定」を選択すると、出力ファイル設定画面に遷移します。

出力ファイルのファイル名、保存方法(上書き保存するか、別名を付けるか)、項目の区切り文字、項目の囲み記号などの設定がおこなえます。

**出力ファイル設定画面**

患者情報

C:\%CutOut#\Patient.txt 参照

上書き保存  
 連番号をファイル名に付加  
 日時をファイル名に付加

フィールド区切り記号

タブ  
 セミコロン  
 カンマ  
 スペース  
 その他

テキスト囲み記号

シングルコーテーション(')  
 ダブルコーテーション(")  
 なし

検査情報

C:\%CutOut#\Kensa.txt 参照

上書き保存  
 連番号をファイル名に付加  
 日時をファイル名に付加

フィールド区切り記号

タブ  
 セミコロン  
 カンマ  
 スペース  
 その他

テキスト囲み記号

シングルコーテーション(')  
 ダブルコーテーション(")  
 なし

検査結果情報

C:\%CutOut#\Kekka.txt 参照

上書き保存  
 連番号をファイル名に付加  
 日時をファイル名に付加

フィールド区切り記号

タブ  
 セミコロン  
 カンマ  
 スペース  
 その他

テキスト囲み記号

シングルコーテーション(')  
 ダブルコーテーション(")  
 なし

結果値がない場合の代替文字列

複数項目 / 1レコード出力時に同日検査を1レコードで出力

日付項目の区切り文字

スラッシュ(YYYY/MM/DD)  
 ハイフン(YYYY-MM-DD)  
 なし(YYYYMMDD)

設定の保存 閉じる

・患者情報、検査情報 出力設定

①ファイル名

抽出したデータを出力するファイル名を指定します。

②ファイル保存方法

ファイルの保存方法を指定します。

上書き保存：指定したファイル名が既に存在していても同名で上書きします。

連番号をファイル名に付加：ファイル名の最後に「\_#」（#は任意の連続した番号）を付加します。

日時をファイル名に付加：ファイル名の最後に「\_年月日時分秒」を付加します

③フィールド区切り記号

項目の区切り文字を指定します。

④テキスト囲み記号

項目を囲む記号を指定します。

## ・検査結果情報 出力設定

検査結果情報

C:\CutOut\Kekka.txt 参照

上書き保存  
 連番号をファイル名に付加  
 日時をファイル名に付加

フィールド区切り記号

タブ  
 セミコロン  
 カンマ  
 スペース  
 その他

テキスト囲み記号

シングルコーテーション(')  
 ダブルコーテーション(")  
 なし

① 結果値がない場合の代替文字列

②  複数項目 / 1レコード出力時に同日検査を1レコードで出力

## ①結果値がない場合の代替文字列

結果値が存在しない場合の代替文字列(ハイフンや NULL など)を指定します。

## ②複数項目 / 1レコード出力時に同日検査を1レコードで出力

複数項目 / 1レコード出力の場合に同日の検査が存在する場合、1レコードで出力をおこないます。結果値は先に登録された値が適用されます。

## ・日付項目の区切り文字

日付項目の区切り文字

スラッシュ(YYYY/MM/DD)  
 ハイフン(YYYY-MM-DD)  
 なし(YYYYMMDD)

日付項目の区切り文字を指定します。

/(スラッシュ)、-(ハイフン)、区切りなしが選択可能です。

全ての設定を終えたら、「設定の保存」ボタンをクリックして設定内容を保存します。

### 3-3. 出力アイテム設定画面

メイン画面のメニューから「出力アイテム設定」を選択すると、出力アイテム設定画面に遷移します。

ファイルに書き込む項目の定義、項目名ヘッダの有無の設定がおこなえます。

患者情報アイテム	
<input checked="" type="checkbox"/>	患者名 (漢字)
<input checked="" type="checkbox"/>	性別
<input checked="" type="checkbox"/>	生年月日
<input checked="" type="checkbox"/>	血液型
<input checked="" type="checkbox"/>	禁忌事項
<input checked="" type="checkbox"/>	現住所郵便番号
<input checked="" type="checkbox"/>	現住所電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	現住所FAX
<input checked="" type="checkbox"/>	現住所
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡先名称
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡先郵便番号
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡先電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡先電話番号携帯区分
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡先住所
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務先名称
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務先所属
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務先電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務先FAX
<input checked="" type="checkbox"/>	保険種別1登録key
<input checked="" type="checkbox"/>	保険種別1
<input checked="" type="checkbox"/>	保険種別1登録key

すべて選択

選択クリア

ヘッダ付加

設定の保存      閉じる

患者情報、検査情報、検査結果情報それぞれについてどの情報を出力するかを設定します。出力したいアイテムにチェックをつけてください。

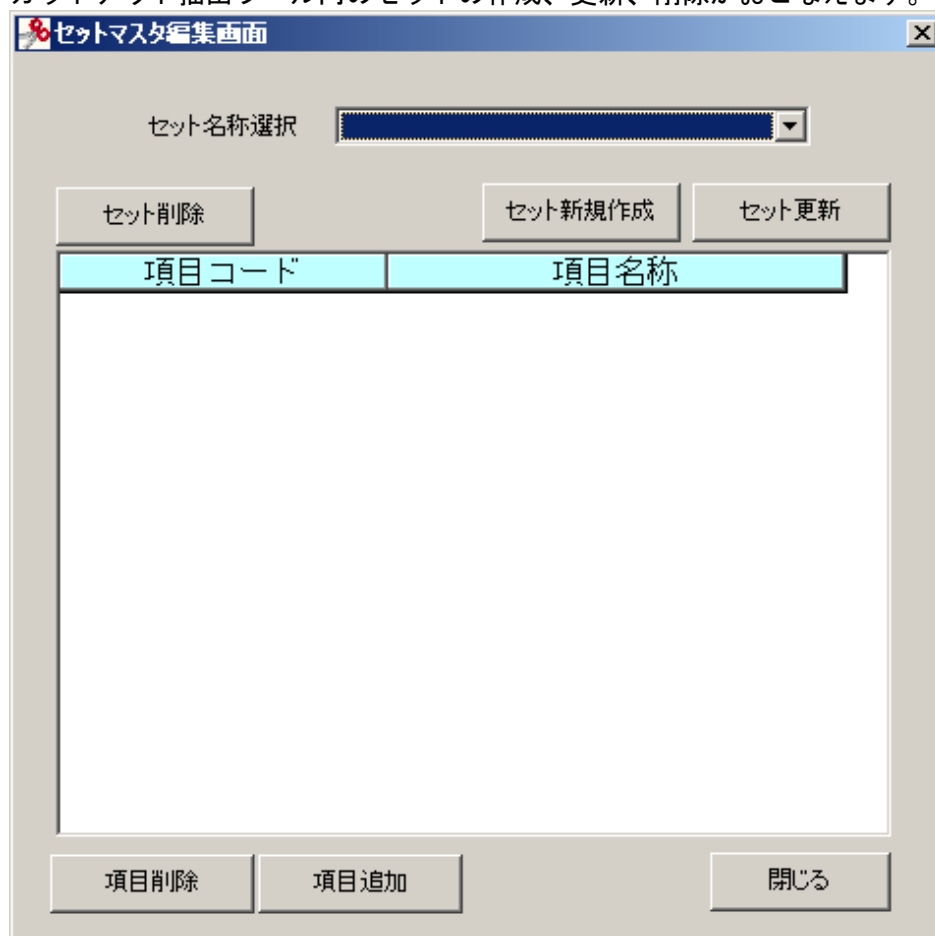
ヘッダ付加にチェックを付けると、ファイルの先頭行に項目名のヘッダを作成します。

全ての設定を終えたら、「設定の保存」ボタンをクリックして設定内容を保存します。

### 3-4. セットマスタ編集画面

メイン画面のメニューから「セットマスタ編集」を選択すると、セットマスタ編集画面に遷移します。

カットアウト抽出ツール内のセットの作成、更新、削除がおこなえます。



- ・セット新規作成方法  
まず項目追加ボタンをクリックして、「検査項目選択画面」を表示します。

検査項目選択画面

検索条件

項目コード  ~

項目名称

検索

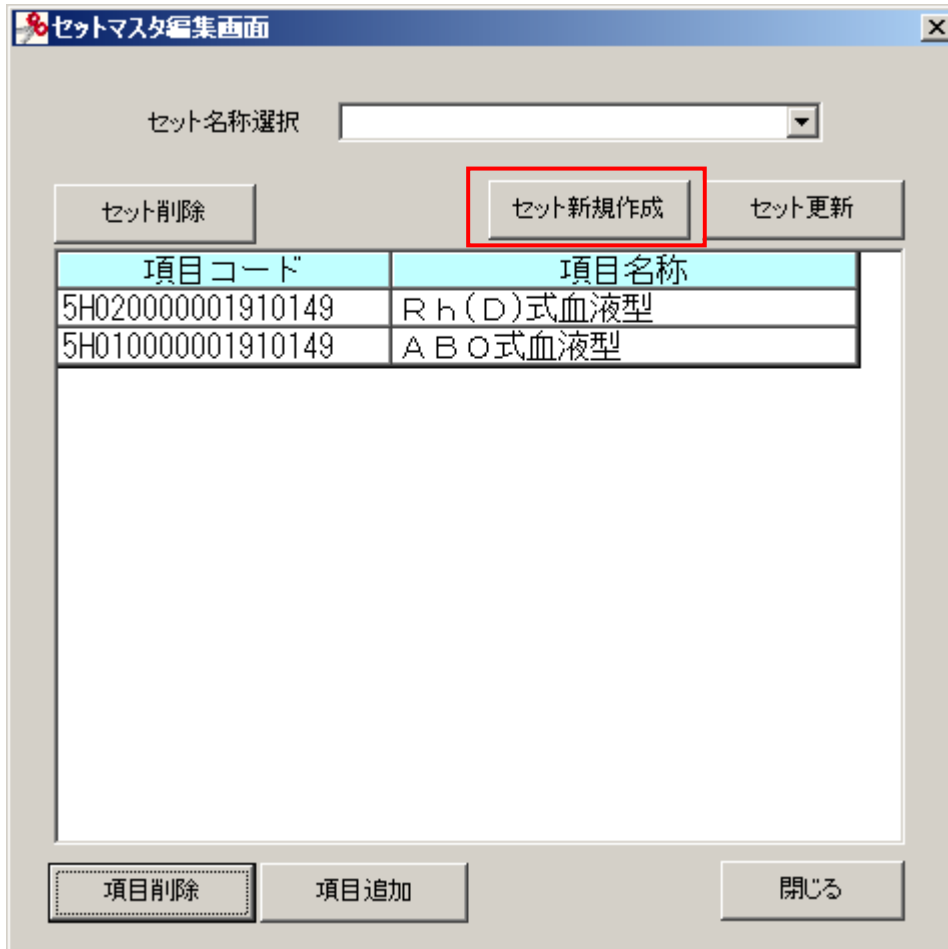
項目コード	項目名称
3H070000002000000	血液ガス分析 (動脈)
5H010000001910149	A B O式血液型
5H020000001910149	R h ( D )式血液型

追加 戻る

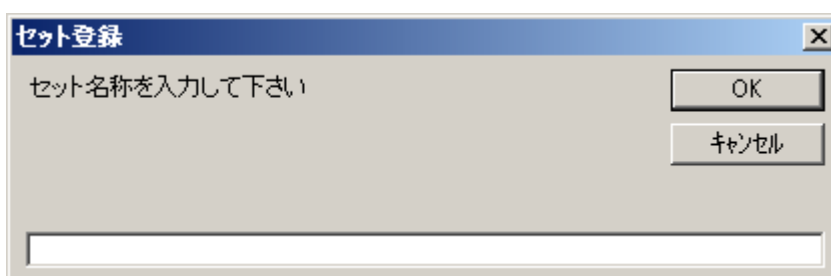
検索条件を入力して検査項目を検索後、追加したい検査を選択し追加ボタンをクリックするとセットマスタ編集画面のリストに追加されます。

※リストは Ctrl キーを押しながらマウスクリックか Shift キーを押しながらマウスクリックで複数項目の選択が可能です。

「検査項目選択画面」で選択した項目がリストに追加されていることを確認後、「セット新規作成」ボタンをクリックします。



メッセージ表示後、セット名称を入力する画面が表示されますので、既存のセット名称以外の名称を入力して下さい。



・セット更新方法

画面上部のコンボボックスから編集したいセットを選択すると、選択したセットに登録されている検査の項目がリストアップされます。

セット名称選択

セット1

セット削除      セット新規作成      セット更新

項目コード	項目名称
0000000101	G O T
0000000102	G P T
0000000105	γ - G T P
0000000106	T - B I L
0000000107	Z T T
0000000109	T - C H O
0000000110	T P
0000000114	T G
0000000117	C P K
0000000122	U A


項目削除      項目追加      閉じる

項目を削除したい場合は、削除したい項目を選択後「項目削除」をクリックしてください。  
項目を追加したい場合は、「項目追加」をクリックして「検査項目選択画面」を表示後、検査項目を選択して追加ボタンをクリックするとリストに追加されます。

編集完了後、「セット更新」をクリックすると更新内容を保存します。

## ・セット削除方法

画面上部のコンボボックスから削除したいセットを選択した後「セット削除」ボタンをクリックするとセットの削除がおこなえます。



セットマスター編集画面

セット名称選択

セット削除      セット新規作成      セット更新

項目コード	項目名称
0000000101	G O T
0000000102	G P T
0000000105	γ - G T P
0000000106	T - B I L
0000000107	Z T T
0000000109	T - C H O
0000000110	T P
0000000114	T G
0000000117	C P K
0000000122	U A

項目削除      項目追加      閉じる

## 3-5. 変換マスタ編集画面

WOLF項目コード	WOLF項目名称	院内システムコード	院内システム項目名称
0000000101	GOT	0000000001	GOT
0000000102	GPT	0000000002	GPT
0000000103	ALP	0000000003	ALP
0000000104	LDH	0000000004	LDH
0000000105	γ-GTP		
0000000106	T-BIL		
0000000107	ZTT		
0000000108	CHE		
0000000109	T-CHO		
0000000110	TP		
0000000114	TG		
0000000117	CPK		
0000000122	UA		
0000000127	血糖		
0000000128	血清AMY		
0000000129	BUN		
0000000130	CRE		
0000000144	ALB		
0000000200	血算		
0000000201	WBC		
0000000202	RBC		

変換マスタを使用してファイル作成

項目コードのみ     項目名称も含む

登録    キャンセル

WOLF検査項目コードと院内システムコードおよびWOLF検査項目名称と院内システム項目名称の変換を設定します。

WOLFの検査項目に対応する院内システムのコードと名称を設定してください。項目にコードおよび名称が設定されていない場合は、WOLFで設定されている内容がそのまま表示されます。

変換マスタを使用してファイル作成  
 項目コードのみ     項目名称も含む

ファイル出力時にWOLF項目コードと院内項目コードの変換をおこなうかを指定します。

「変換マスタを使用してファイル作成」にチェックを付けると、ファイル作成時に変換されたコードが出力されます。項目名称も変換したい場合は、「項目名称も含む」を指定します。  
※あくまでも出力ファイルの内容のみを変換しますので、画面上はWOLFの検査項目コード、名称が表示されます。

「変換マスタを使用してファイル作成」からチェックを外すと、ファイル作成時はWOLFのコード、名称がそのまま出力されます。

全ての設定を終えたら、「登録」ボタンをクリックして設定内容を保存します。

## 3-6. 桁数設定画面



項目名	桁数
加No	15
患者名 (カ)	20
患者名(漢字)	20
性別	4
生年月日	8
血液型 ABO	2
血液型 Rho	1
禁忌事項	40
現住所郵便番号	9
現住所電話番号	13
現住所 F A X	13
現住所	80
緊急連絡先名称	40
緊急連絡先郵便番号	9
緊急連絡先電話番号	13
緊急連絡先電話番号携帯区分	8
緊急連絡先住所	80

ファイル出力時に項目の桁数を固定で出力したい場合、項目ごとの桁数を設定します。  
桁数固定で出力する際は必ず「出力項目の桁数を固定にする」にチェックを付けて下さい。

患者情報、検査情報、検査結果情報それぞれで設定が可能です。  
桁数を変更する際は、数値を変更して下さい。

全ての設定を終えましたら、「登録」ボタンをクリックして設定内容を保存します。

### 3-7. データ抽出

各種設定およびマスタの整備が終わりましたら、メイン画面にてデータの抽出をおこないます。

データを抽出する為に、まずは抽出対象となる患者を選択する必要があります。  
検索条件を指定し、検索結果から抽出したい患者を選択します。

抽出条件は以下の7項目です。

- ・患者名(カナ)による検索(前方一致および部分一致)
- ・患者番号による検索(前方一致および部分一致)
- ・受付日による検索(範囲指定)
- ・取込日による検索(範囲指定)
- ・患者の年齢による検索(以上、以下、範囲指定)
- ・透析区分による検索(透析前、透析後)
- ・性別による検索(男性、女性)

※受付日および取込日で患者を検索した場合、抽出対象の検査結果も指定された範囲の日付のデータのみを抽出します。

抽出条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、以下の様に左下のリストに患者の一覧が表示されます。

	カルテ番号	患者名 (カナ)	性別	生年月日	年齢
<input checked="" type="checkbox"/>	000001	山田 太郎	男	1939/09/16	69
<input checked="" type="checkbox"/>	000002	田中 花子	女	1961/01/13	48
<input checked="" type="checkbox"/>	000003	佐藤 一郎	男	1935/04/02	74
<input checked="" type="checkbox"/>	000004	鈴木 美咲	女	1932/04/17	77
<input checked="" type="checkbox"/>	000005	高橋 健二	男	1921/02/01	88
<input type="checkbox"/>	000006	渡辺 真由美	女	1947/03/26	62
<input type="checkbox"/>	000007	中村 隆夫	男	1950/09/11	58
<input type="checkbox"/>	000008	小林 千代	女	1951/03/26	58
<input type="checkbox"/>	000009	山本 浩一	男	1930/04/02	79
<input type="checkbox"/>	000010	佐々木 由紀	女	1937/01/15	72
<input type="checkbox"/>	000011	松本 健太	男	1952/03/24	57
<input type="checkbox"/>	000012	山崎 美穂	女	1935/12/04	73
<input type="checkbox"/>	000013	田村 隆夫	男	1922/05/20	87
<input type="checkbox"/>	000014	佐藤 美穂	女	1923/05/02	86
<input type="checkbox"/>	000015	鈴木 美咲	女	1924/01/02	85
<input type="checkbox"/>	000016	高橋 健二	男	1921/03/27	88
<input type="checkbox"/>	000017	山田 太郎	男	1955/03/03	54
<input type="checkbox"/>	000018	山本 浩一	女	1938/03/10	71
<input type="checkbox"/>	000019	佐藤 美穂	女	1938/03/22	71
<input type="checkbox"/>	000020	鈴木 美咲	女	1952/08/02	57
<input type="checkbox"/>	000021	高橋 健二	男	1910/06/20	99
<input type="checkbox"/>	000022	山田 太郎	男	1946/10/18	62
<input type="checkbox"/>	000023	山崎 美穂	男	1930/02/21	79
<input type="checkbox"/>	000024	山崎 美穂	男	1919/04/15	90
<input type="checkbox"/>	000025	山崎 美穂	男	1917/09/25	91
<input type="checkbox"/>	000026	山崎 美穂	女	1928/11/20	80
<input type="checkbox"/>	000027	山崎 美穂	女	1952/01/02	57

リストから抽出したい患者を選択します。

カルテ番号の左側の四角をクリックするとチェックマークの ON、OFF になります。

次に抽出条件を指定します。

検査項目抽出条件として、

- ・複数項目を1レコードで抽出
- ・1項目1レコードで抽出
- ・その他タイプ選択

が選択可能です。

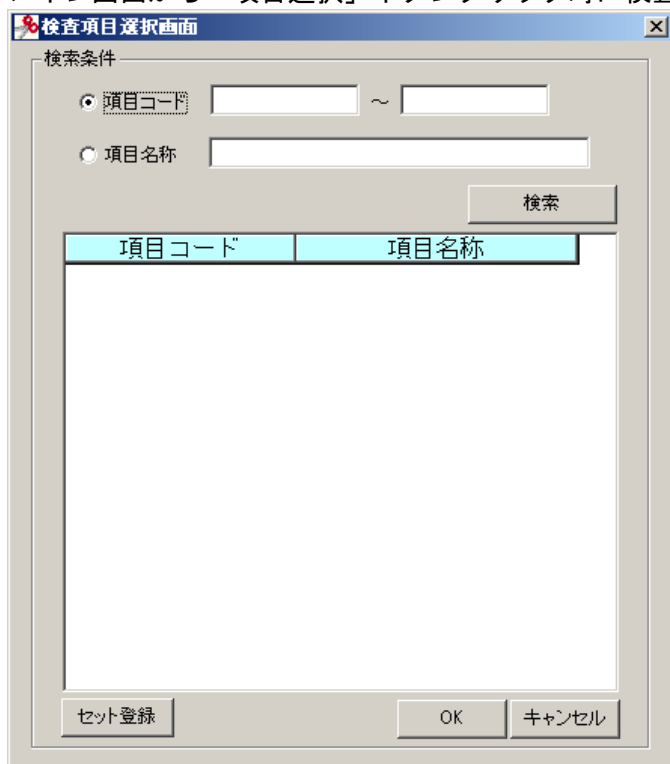
その他タイプ選択の場合、抽出される項目は予め定義されたもののみとなります。  
(抽出する検査項目はすべての検査項目となります)

「項目選択」を選ぶと、項目選択ボタンが表示されます。クリックすると項目選択画面に遷移します。  
(3.8 検査項目選択画面 参照)

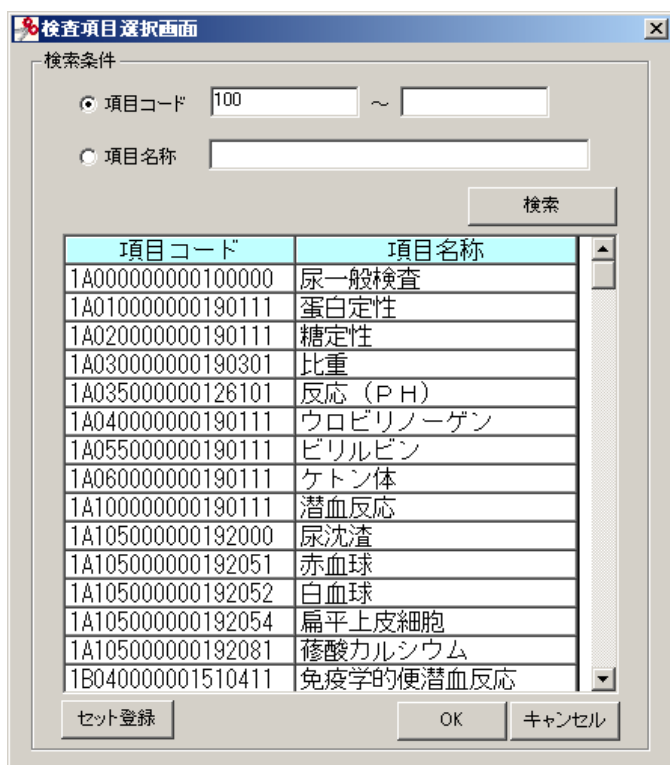
「登録済みセット」もしくは「WOLFセット」を選ぶと、コンボボックスが表示されます。  
「登録済みセット」の場合はカットアウト抽出ツールに登録されているセットの一覧から、  
「WOLFセット」の場合はWOLFに登録されているセットの一覧から検査のセットを選択することが可能です。

### 3-8. 検査項目選択画面

メイン画面から「項目選択」ボタンクリック時に検査項目選択画面に遷移します。



項目コードまたは項目名称に検索条件を入力し、検索ボタンをクリックすると、検索結果が下のリストに表示されます。

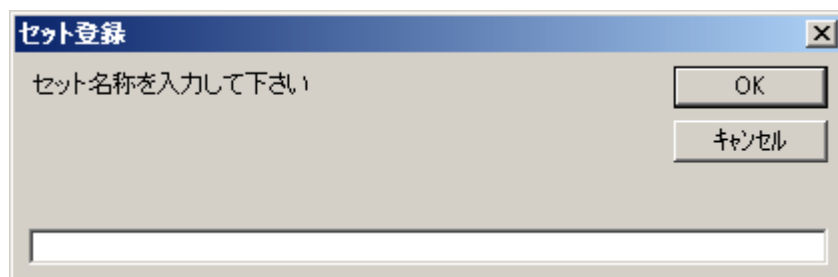


項目コード	項目名称
1A00000000100000	尿一般検査
1A01000000190111	蛋白定性
1A02000000190111	糖定性
1A03000000190301	比重
1A03500000126101	反応 (PH)
1A04000000190111	ウロビリノーゲン
1A05000000190111	ビリルビン
1A06000000190111	ケトン体
1A10000000190111	潜血反応
1A10500000192000	尿沈渣
1A10500000192051	赤血球
1A10500000192052	白血球
1A10500000192054	扁平上皮細胞
1A10500000192081	尿酸カルシウム
1B040000001510411	免疫学的便潜血反応

抽出したい検査項目をクリックで選択(複数選択可能)し、OK ボタンをクリックすることで選択した検査項目がメイン画面の検査項目リストに追加されます。

また、選択した検査項目をセットマスタ画面を介さずに、直接登録しておくことも可能です。

セットの登録は、リストから検査項目を選択後「セット登録」ボタンをクリックします。

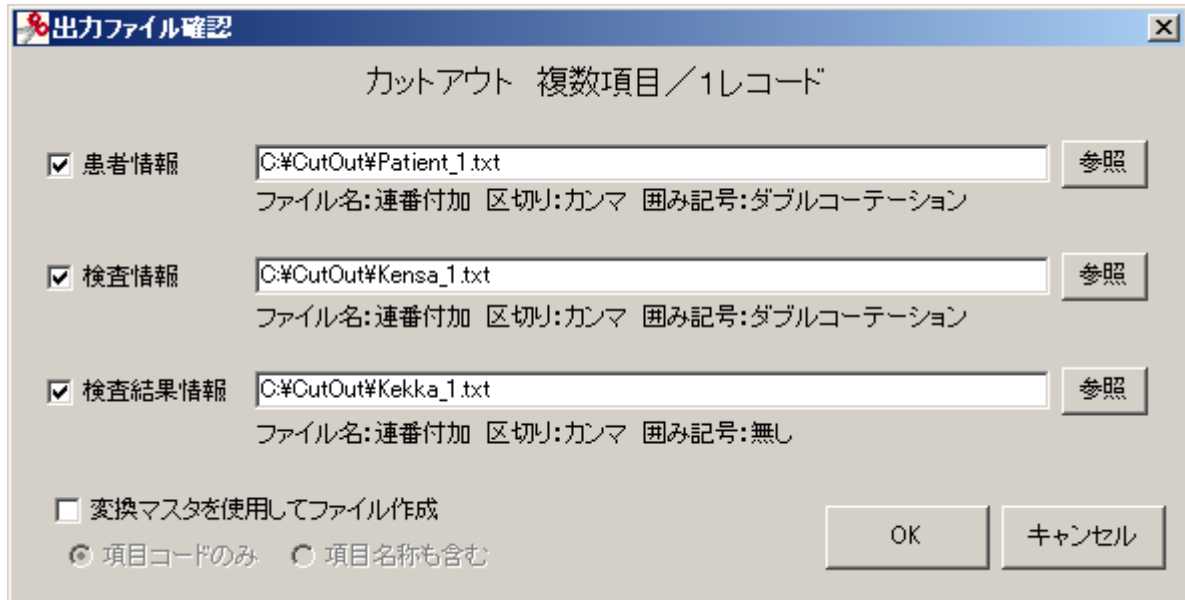


セット名称入力後 OK でセットを登録します。

### 3-9. ファイル出力

抽出対象の患者と抽出項目の設定が完了しましたら、メイン画面にて「抽出」ボタンをクリックしてください。

以下のようなダイアログが表示され、抽出するファイルの最終確認をおこないます。



ファイル名に連番号や日時を付加する設定にしていた場合は、自動的に連番号や日時が付加されたファイル名が表示されます。

患者番号、検査情報、検査結果情報の左のチェックをはずすと、そのファイルは出力されません。

設定確認後、「OK」ボタンをクリックするとデータを抽出し、ファイルを作成します。

以下のメッセージが表示されますと、ファイルの作成完了です。

